

イエス・キリスト倉敷福音教会

週報 2017年6月4日

賛美	34	会衆
使徒信条		会衆
聖書交読	ヨハネ4:1~38	
代表祈祷		
賛美	487	会衆
聖書朗読	ヨハネ4:39~42	
メッセージ		牧師
「イエス様のヴィジョンと私のヴィジョン」		
献金	367	会衆
頌栄	5	会衆
祝祷		牧師

※ 今週の集会予定 ※

- 日曜日 10:30~ 第一礼拝
- 12:15~ 教会学校
- 14:30~ 第二礼拝
- 月曜日 19:30~21:00 伝道学校
- 火曜日 10:30~12:00 伝道学校
- 水曜日 11:30~ 水曜祈り会
- 木曜日 6:30~ 早天祈祷会
- 金曜日 21:00~ 祈祷会

連絡先:倉敷市中島 1459-3 086-697-5915

牧師 山村 仁 携帯 070-5309-2089

Email mt1616@live.jp

ホームページ <http://www.mt1616.net/>

※ホームページにて礼拝と木曜早天祈祷のライブ配信をしています

※主日礼拝時は小林電気さんの南側駐車場が利用出来ます。教会の裏の細い道から入ってつきあたりを右です。

※お知らせ※

1. 今週の伝道学校の講師はソウルのイ・サンギョ牧師です。覚えて参加しましょう。
2. 6月13日から15日まで牧師は秋田市で行われる日本総会牧会者巡回伝道キャンプに参加します。秋田に伝道のために祈っている方がありましたら、牧師にご紹介ください。
3. 6月25日の礼拝は招待礼拝と親睦会の時とします。今から祈りに覚え、教会に招待し、親睦の時としましょう

	司会	祈祷	受付	清掃
6月4日	北野長	藤井勸	山村勸・村原姉	長尾家
11日	中山長	北野勸	遠山勸・長尾姉	山村勸
18日	遠山長	中山長	白神姉・小谷姉	中山長・牧師夫人
25日	北野長	遠山長	北野勸・熊本姉	小谷家・山田家
7月2日	中山長	北野長	藤井勸・松本姉	藤井勸・白神姉

※祈りの課題

1. 中四国・日本・世界福音化契約が成就されるため、聖書的な伝道と次世代を生かす神の絶対目標の中で、それぞれの絶対使命が明確にされ、絶対献身の生活に入ってゆくことができるように。
2. 牧師と重職者(長老・按手執事・勸士)と全聖徒がワンネスとなり、聖霊充満と五つの力が与えられるように
3. 6月25日の招待礼拝と親睦会に祈りの中にある人々が主の計画の時なら導かれ、集うことができますように。
4. 神戸根源教会とキム・デジン牧師(50代半ば、奥様、大学生の息子)の働きと祝福を覚えて
5. イエス・キリストによる救いと世界福音化契約が私のものとなり、イエス様が私を通してなされる家族、民族、世界を生かそうとしておられるヴィジョンが私のヴィジョンとなりますように

今週のメッセージ ヨハネ4:1~42

「イエス様のヴィジョンと私のヴィジョン」

序論:辞書でヴィジョンと調べると、①視覚という意味と②将来の展望を見通すことという二つの意味がある。①は肉体的であり②は精神的であり、霊的な意味合いが含まれている。

1. 恵みが必要な人

- 1) 結婚と離婚を繰り返す...霊的な問題
 - 2) ユダヤ人との確執...民族の問題
 - 3) 全ての人の問題...根本問題
- * イエスが神の子キリストであることを知らない魂は滅びるしかない運命にとらわれている。

2. 恵みによる出会い

- 1) イエスはサマリヤを通らなければならなかった
エルサレム・ユダヤ・サマリヤ・地の果て
- 2) 始まりの人として女性が選ばれた
- 3) イエス様の方から声をかけられた
- 4) 霊的な核心に触れられた
- ①彼女の見える問題 16~18
- ②本当に癒されるべきこと 19~24
- ③癒し以前に必要な救い 25~26
- 5) 彼女を証人として立てた29~30

3. 広がる恵み

- 1) 一人の癒しが証人となる 39
- 2) イエス・キリストを求める 40
- 3) 直接キリストを信じる者となる 41~42

結論:一人の人から始まる 13~14

1. 私が救いを必要とする渴いた魂
2. 私に恵みが臨むと確信
3. 私に注がれた恵みは溢れ流れる

産業宣教メッセージ OMCと第2のRUTC運動(21)
「絶対性の答え」(使2:1-4)

1. 当然性を見た人々

- 1) マタ24:1-51 2) マタ25:1-46
3) マタ28:1-15

2. 必然性を見た人々

- 1) マタ28:16-20 2) 使1:1、3、8
3) 使1:14

3. 絶対答え

- 1) 使2:1-4 2) 使2:6-11
3) 使2:14-21

伝道学メッセージ 伝道者の生活と第2のRUTC運動(21)
「実を結ぶ伝道」(使19:21)

1. 当然の伝道

- 1) ロマ3:10 2) ロマ3:23
3) ロマ5:8

2. 必然的な伝道

- 1) ヨハ5:24 2) ヨハ1:12
3) ロマ10:9-10

3. 絶対的な伝道

- 1) 使1:14 2) 使2:9-11
3) 使11:19 4) 使13:1
5) 使16:6-10 6) 使19:8-20
7) 使19:21

核心メッセージ 第2のRUTC運動(21)

「Remnantと伝道者たちが見た証拠」(使1:8)

1. Remnantが見た当然、必然、絶対(イザ6:13)

- 1) 福音がなくなった時代 2) 証人時代
3) 災いを止める

2. 信仰の英雄たちが見た当然、必然、絶対(ヘブ11:1-38)

- 1) 奴隷 2) 捕虜

3) 属国

3. 初代教会が見た当然、必然、絶対(使1:1-8)

- 1) カルバリの丘(使1:1) 2) オリーブの山(使1:3)
3) マルコの屋上の間(使1:8)

区域メッセージ 6月の主題 * 伝道者の絶対献身 - 一心、全
心、持続 伝道者の絶対献身 - 一心 (使1:14)

この人たちは、婦人たちやイエスの母マリヤ、およびイエスの兄弟
たちとともに、みな心を合わせ、祈りに専念していた。

序論 / メッセージの流れ

本論 /

1. 一心

- 最高の価値であるキリストを発見して、見た人の人生(ピリ3:1-21)
1) サタンのおどろきを知って、その答えを持った人(12の人生問題
→ 使1:1、3、8)
2) 滅亡の危機時代に確かな答えを持った人 - 出3:18、イザ6:
13、7:14、マタ16:16
3) これから迫る災い時代を止める答えを持った人 - マタイ24-
25章、IIテモ3:1-13、黙12:1-9

2. 一心の内容と方法

1) 一心の内容

- (1) 結論 - 使1:1 (2) 結果 - 使1:8
(3) 過程 - 使1:3

2) 一心の方法

- (1) 使1:14 (2) 使2:1
(3) 使2:42

3. 神様が用いられる人 - 三つの一心の奥義を持った人

- 1) 一心の理由 → 災いを受けるしかない世の中(創3、6、11章)、
災いを止めるしかない解答(使1:1、3、8)
2) 一心の対象 → 神様 + キリスト + 聖霊 + 天国 + 教会
3) 一心の方法 → ただ福音によって災い、危機の前で一つになる
(出3:16-20、使2:44-47、4:32-35)
4) 一心の証人たち → 族長時代(アブラハムの家系)、奴隷時代
(ヨセフ、モーセ)、
戦争時代(サムエル、ダビデ、ヒゼキヤ)、捕虜時代(ダニエル)、属

国時代(初代教会、ローマ16章)

4. 一心の答え - 癒し

- 1) 福音を持った私たちが一心で一つになるとき(Oneness)
- 現場癒し(出3:16-20、14:1-13、ヨシ3:1-13、6:1-
20、10:10-14、14:6-15、Iサム7:1-15、I歴29:10-14、
II列6:8-24、使2:1-47)
2) 教会癒し
- 幕屋運動(出25:1-9)、神殿運動(I歴29:10-14)、教会
運動(使2:1-47)中心
3) 個人癒し
- 使13:1-12(教権、宗教)、8:4-8(理念、思想)、12:1-25
(政治)、
霊的/肉体的/精神的な病気の癒し(使13:1-12、16:16-
18、19:8-20)

結論 /

一心の結論は刻印を変えること

1. エゼ37:1-10、47:1-23
2. 使1:14(2:14-21、42)
3. 黙1:3